連盟ニュース

№３１０

神奈川

11

2010. 11. 9

『初冬の大日岳』(北アルプス・室堂にて)　　撮影：トリコシアキオ(http://tory.com/)

神奈川県勤労者山岳連盟
〒221-0822　横浜市神奈川区西神奈川1-18-2 永田ビル3階
TEL/FAX 045-434-2726　http://www.k-rouzan.net/
発行責任者　後藤　真一
振込先 郵便局 世界貿易センター内局　#00290-9-15228
他金融機関からは ０２９店 当座００１５２２８

「枯れたブナ根むき出し」丹沢の自然取り戻せるか

2010.10.12　中山　建生

9月の常任理事会で丹沢の土壌の流出、シカの増えすぎを報道した朝日新聞「ルポかながわ」からを紹介し、対策の遅れを話した。この記事は登山者に関わる登山道が痛む「オオバーユウス」についても触れている。丹沢の自然再生については06年から丹沢大山総合調査報告を受けて、県は丹沢大山自然再生計画を策定し、07年度から各種の事業を開始している。県労山の丹沢クリーンハイクもこうした活動の一部である。総合計画は私も目をとおした。具体的な解決策を示して行動を起こすべきと考える。このままでは何もかも間に合わないような気がした。前記記事の指摘は、①シカの増えすぎ②大気汚染③ブナハバチの大量発生④ブナの衰退⑤下草や潅木の食害による表土の流出⑥人工林の荒廃⑦登山者による登山道の踏み付けなどをあげている。土壌の流出は下草や潅木が育たず、また多量の雨は表土を押しながすため、地質は貧弱となり植物が育つ環境は悪化した。シカの増加により下草や潅木を食するため枯れてしまい、裸地となるから土壌の流出を加速した。では現在4000～4900頭（推定）から1500頭を下回るのが適正数とするが、07年から過去比５割り増しで年間1500頭前後の捕獲にとどまるという。ここまでが報告の一部である。とすれば現在のシカ対策ではとても適正数に減らせない。年間の自然増はと考えてしまう。狩猟。捕獲の実態はと気になる。そして登山者のオウバーユウスに関しては具体的な解決を提示しない。シカと同様にその対策を考えるなら、一日の登山者の適正人数を割り出して、入山規制をかけなくてはならない。例えば大倉尾根コースは一日の入下山者を500人としたらどのような変化がでるのか、でないのか試したらいい。と同時に登山道の整備保全活動を進めることである。近年雨水の流れを水切りにより登山道から斜面に落として、登山道を水流による抉りや崩壊から防ぐ手立てをとっている。環境保全の具体的なあらわれの一つである。崩壊地も大きなものとなると人の手だけでは改良できず、大がかりな機械による改良工事となる。丹沢に見られる林道への土砂の流出は沢状の斜面から沢からも随所に見られる。しかし、こうした場所は手が付けられず放置されたままである。結果、河川の増水、都市部への洪水被害などにつながるのは目に見えている。この対策にあてる予算がない、現場に立ち入り作業をする人手がない、適正な方法を指導する専門家がいない、長期的な計画をたてていない。しかも過去の林道工事などの杜撰な結果である。これこそ国や県は修復の責任を果たさなくてはならない。その場その場の対処療法では基本的な解決にならない。登山者が問題に関連して将来を見越した提案をすることで一歩の前進にはなる。登山者にとり入山規制はタブーである。自然災害、動植物の死滅、地球規模の環境破壊にたいして関心がないために更に増幅される。登山者は自己の要求に汲々として山だけを見ているから、登山を何人にも犯されない権利であると主張する。登山をしない人達からは登山者の身勝手としか写らない。崩壊の度合いや最優先で保全の必要のある場所は何人も立ち入らない。次に人が積極的に介在することで保全の効果を高める場所には一定の人数の入山を認める。一般的な注意を払えば大きなリスクを与えない場所には入山を禁止しない。自然と人との関わりを積極的にする場所は整備をして安全な利用ができるようにする。例えば里山づくり、人工林の下草刈り、訓練を施した人達の枝落としなどすでに行なわれている活動を支援することである。登山者も国民のひとりであり、日本と世界の自然環境に関する問題には当然の責任を負っている。だれもが可能なことを実行する。運動に参加する。後はこうした人達をまとめる能力をもつ行政手腕を必要とする。今明らかな衰退や破壊の原因に対していくつか有効と思われる対策をとることである。こうするためには現状を知り、自然環境の保護と保全になんらかの力を注ごうとする関心と行動である。そのための啓発活動に力を注ぐなら神奈川に住む登山者として誇りを持てるであろう。

生物多様性の恵みを大切にし 登山文化の発展を

第 15 回全国登山者自然保護集会

●2010 年 11 月 27 日（土）～ 28 日（日）

●ブリヂストン奥多摩園

主催＝日本勤労者山岳連盟　主管＝東京都勤労者山岳連盟　後援＝青梅市

豊かな山の自然を守り、自然と共生した持続可能な登山文化を守り、発展させていくことはハイカーや登山者の務めではないでしょうか。

自然が豊かであるからこそ登山を楽しむことができます。山岳自然を守るために、ハイカーや登山者はどうすればいいのか、いっしょに考え、話し合うために第１５回全国登山者自然保護集会を開催します。

全国の登山愛好者をはじめ、登山団体、自然保護団体、研究者や関心のある市民の方など、多数の方々が参加していただくことを心から期待しております。

記念講演=小川　潔(東京学芸大学教育学部准教授)

「生物多様性の保全と登山者の役割について」　※11月27日（土）午後です。

・二日目（28日）の午前中は、下記のような五つの分科会をおこないます。

◆生物多様性の宝庫である山の自然、汚さずに自然を傷つけない登山とは
　オーバーユースや携帯トイレ問題について考える

◆里山の自然を大事にし、山の多様な楽しみ方を求める登山文化を

◆地球温暖化と気候変動、登山者はどうすればいいか
　低炭素登山について考える

◆野生鳥獣と共生するための登山者の役割
　高山帯に進出するニホンジカやサル、人里に現れるクマ、イノシシなどについて考える

◆貴重な山の自然を破壊するヒトの経済活動や社会生活の問題について考える

◆資料代＝500円（夜の交流会参加者は別に1500円）

◆宿泊希望者は8000円（資料代、一泊二食付き・交流会費用含む）が必要です。

◆問合せ先＝東京都勤労者山岳連盟自然保護委員会

E-Mail info@twaf,jp　TEL/FAX　03-3260-0372

宿泊希望者の申し込み締切期限は、１１月13日（金）です。

県連では　１１/１３迄　高橋勇三さん（藤沢山の会）がまとめます。

現在　宿泊（５名）・　２７日のみ参加（５名）

奮ってご参加ください。

10.3　丹沢クリーンハイク(不動尻コース)報告２

川崎ハイキングクラブ参加者感想文

■ 数年ぶりにクリーンハイクに参加できた。元小屋があった所のゴミ収集で私はビンのみを約６ｋｇ集め２重に包んでザックに入れた。病み上がり２回目の山行であったが気分良く歩けた。下山後のビールは格別にうまかった。　(樋渡輝彦)

■「クリーンハイク」良い体験をさせて頂きました。手提げでの下山は大変でした。　(坪井敏明)

■ すがすがしい秋晴れの下、お山のゴミ回収をして心もすがすがしくなりました。お山を綺麗にし、お山の神様に感謝されるのも良いことと思います。私のゴミ袋は空き瓶・空き缶・ペットボトルで、あっと言う間に一杯。６.５kgでした。

(寒河江保男)

■ 吉岡さんにヒルバスターをかけてもらい出発。989メートルの地点では沢山のビンを拾い、皆さん両手いっぱい、リュックに手負うのが大変でしたが、無事下山しニジマスのから揚げが美味しかったです。今度は大きいリュックにします。

(関口金子)

■ 私にとっては初のクリーンハイクの経験でした。行く前は山ヒルの事ばかり調査したり対策を考えたり心配をしていましたので、大山のゴミはどのようなものが落ちているのか、それをどのように収集するのか等が全てわからないまま参加。また、拾ったゴミをほぼ頂上から持って登山口まで下山するとは想像もしていませんでした。自分のザック重量とほぼ同量を背負っての下山は辛い思いをしましたが毎年実施し参加されている自然保護メンバーや神奈川県内各クラブの参加メンバーのことを思うと頭が下がります。途中登ってくるハイカーから「ご苦労さん!」との声かけもあり今回のクリーンハイクは何時もの頂上達成感とは違った満足のいく登山であった。

「クリーンハイクは、ご苦労山(さん)でした」　(井上政弘)

■　大山989地点を目指して

３度目の正直・・・縁が無いのか申し込むといつも雨の予報で中止。今回、やっと念願（笑）のクリーンハイクに参加させていただきました。

秦野駅のバス停から揺らり揺られて５０分、ヤビツ峠到着。本日の参加者KHC14名、他のクラブの方々と合わせて２９名。肌寒い中、諸注意を受け、ヒル・バスターを吹きかけ、３班に分かれ出発。３０分も歩くとじっとりと汗がにじんでくる。最近は山で汗をかく事が快感になりつつあります。

家族連れで賑わう大山山頂で早めの昼食。遥か彼方には、吉野さん家が見えた様な、見えない様な・・(^_^)

そこから歩くこと２０分、本日のメインイベント９８９地点での集中ゴミ拾い軍手、２重にしたゴミ袋、トング片手にさあスタート花咲じいさんではないけれど「もしかしたらお宝が」などと欲深な事を考えていたせいか、出てくる物は割れたビンやら茶碗やら腐ったカンばかり、まるでイジワルじいさんになった気分でした。３０分一本勝負、総重量１７３ｋｇ　皆さんザックに詰めたり、くくりつけたりして、これからが本番、長～い下りです。

本日に限り若手№.１の吉岡さんは背負子に２５ｋ程のビン類

をくくりつけ汗びっしょりで下りました。本当にお疲れ様でした。無事にゴミ集積所まで運びホッと一息。後は軽い足取りで「つり掘り“ますや”」まで。生ビールに「ニジマスのからあげ&おどり焼き」でカンパイしました。

初めてのクリーンハイク参加、少しはお役に立てたかどうか解りませんが、自然保護の方々の想いは確実に伝わってきました。皆様、お疲れ様でした&ありがとうございました。

2010. 10. 3　　荒

横浜ハイキングクラブ感想文

参加者：CL宮原.十津川. 高橋(記録). 門前. 長井. 真壁(感想)
コースタイム　：　秦野駅集合８時　　ヤビツ峠９：３０発～大山山頂１０：４５着（昼食）～水源の森林１１：５０着（ゴミ拾い）～不動尻登山口１４：０５着（ゴミを置く）　１５：１０（解散）～広沢寺温泉入口バス停１５：２５着

川崎ハイキングクラブ主催のクリーンハイクに各会が協力し、横浜ハイキングクラブからは６名が参加しました。収集場所にはガラスや金属の破片など散乱してましたがケガもなく終了しました。一人が運べるゴミの量はすくなくても、３０名近くの人が運べばかなりの量になり、数は力なりを実感しました。

山の会おるた！感想文

曇り後雨の予報だったが快晴。ヤビツ峠で打ち合わせ後に出発、989m地点でゴミを拾う。昔は鉄塔などを設置した作業者の方々の飯場だったらしい。鍋や一升瓶、衣服などがいたる所に転がっている。ものすごい悪臭の中、ガラスや缶類をメインに拾ったが、予定の一時間を待たず、あっという間に全てのゴミ袋が一杯となった。大山頂上から不動尻までのコースは人が少なく、特にこの地点は見晴らしの良い雰囲気のある場所なだけに残念。完全にゴミが無くなるまで後2回は必要では。

帰りは「川魚料理ますや」さんで反省会。登山道をきれいにするのはもちろんだが、世代や会を越えて交流が出来る機会はなかなか無いので、とても意義のあるものになった。

ゴミ総重量172.3kg　一人当たり5.9kg(29人参加)

クリーンハイク参加のみなさま先日はおつかれさまでした。

山の会おるた！　柏木

柴笛クラブ感想文

この度清掃を行った場所の惨状は、五月のクリーンハイクの準備段階から聞き知っていました。五月のクリーンハイクが雨天中止となり、大切な仕事をやり残したような気持ちと、その場所を見てみたい好奇心に駆られ、秋晴れの一日、集中清掃隊に加わって大山へ出掛けました。そこはガラス瓶、瀬戸物、トタン板などが広く一面に散乱して、悪臭もあり、聞きしに勝るひどい有様。皆さん口々に「なにこれー」「うわーっ、やだ」と言いながらも果敢に清掃に取り組み、重く危険な廃棄物を背負って運び降ろしました。指定の場所にゴミを置いて、ホッとして、とても晴れ晴れとした気分に包まれました。大勢でやれば掃除も楽しい。片付けたゴミはほんの少しでも、山をきれいにすることが出来た満足感は予想外の大きさでした。クリーンハイクの醍醐味を、覚えてしまった様です。〈柴笛クラブ・吉崎玲子〉

藤沢山の会　創立３０周年記念　丹沢主脈縦走山行

期間：　2010年９月１６日（木）～２０日（月）
参加者：CL池田、SL太田、中河原
＊＊＊　リーダー所感　＊＊＊
　今回の山行企画、３０周年記念丹沢主脈縦走は、私の丹沢に対する集大成だったと思っています。谷川岳、八ヶ岳、北アルプス等主に稜線を歩いてきた私ですがなんと言っても丹沢は私が山のＡＢＣを学んだホームグランドであり、私の師であったからです。その丹沢の端から端まで長い道のりでしたが、思い出の多い楽しい山旅になりました。最初は３人，最終参加者２２名にもなり、さすが藤沢の会！　底力を秘めた会、私がその会の会員であることを嬉しく思います。今回の山行を支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。
＊＊＊　山行経過・感想　中河原 昭夫　＊＊＊
　３０周年記念丹沢全山縦走は会員のサポートなしには達成することができなかったと思っています。
１６日
　まず、１２日の太田さんと木村さんによる犬越路避難小屋への水揚げからこの山行は始まりました。そして、全山縦走を目指す３人(池田、太田、中河原)は、１６日、雨の篭坂峠の公園墓地のトイレの建物でのビバークからこの縦走をスタートしました。

まずは３人でスタート　鉄砲木の頭にて（17日）
写真提供：中河原 昭夫

１７日
　１日目は、菰釣避難小屋までの約１８kmを、１２時間５分の行動時間で何とか歩ききりました。もう、菰釣山へ向かう最後の登りでは、休憩の度ごとに３人とも仰向けにひっくり返ってしばし眠ってしまっていました。だから、休憩になるとあたりはしーんと静まりかえっていました。私などはぐっすり眠ってしまって太田さんに起こされることもありました。このころ飲む水は、もうとてもいとおしくてしばらく口の中に含んでからゆっくりと胃の中に送り込むという状態で、水がこんなにおいしかったとは、と思ったものです。こんなに疲れたのでは、明日からもう歩けないのでは、避難小屋から下山することになるのでは、などと思いながら最後の力を振り絞って避難小屋を目指しました。避難小屋に着く頃には、周りは暗くなり足元もよく見えなくなっていました。避難小屋に着いた時は、もう疲れはピークになっていて、私は何も飲まず食わずで、そのままバタンキュー。朝までぐっすりでした。太田さんもほぼ私と同じ状態だったようで、池田さんは一人で寂しく飲まれたと聞きました。すみません。
１８日
　２日目の朝、目が覚めて起きてみると、昨日の疲れは嘘のように消えていました。人間の体の回復力に感心しました。ザックの重さも昨日より食料や水などが3kgほど減って、今日はがんばれるぞという予感がしました。この日は、犬越路避難小屋までの約１３kmを、行動時間８時間５５分の道のりでした。この日最後の山、大室山からの下りでは、犬越路避難小屋に仲間が持ち上げてくれることになっているビールを目指してがんばりました。避難小屋では４人の仲間が暖かく迎えてくれました。ビールあり馬刺あり焼き肉ありで、まさに地獄で仏のありがたさでした。
１９日
　３日目は、丹沢山みやま山荘への行程、約１１km、

最初のサポート隊と一緒に　　檜洞丸山頂（19日）

行動時間９時間５４分の道のりでした。最後の丹沢山への登りが長く、疲れもピークでしたが、５人の仲間がビールとおしぼりで迎えてくれました。この日は山荘泊まりでしたので、４日ぶりに人心地の着いた夜でした。
２０日
　４日目、いよいよこの山行の最終日、最終目的地「日向薬師バス停」までは、約１７km、行動時間１１時間１０分の長丁場でした。塔の岳で待つ、勇三さんと合流し、ヤビツで峠では５人の仲間と別れ、最後の山「大山山頂」を目指しました。山頂では、我々の到着を３時間も待ってくれた８人の仲間が果物と飲み物で迎えてくれました。なんとおいしかっ

たこと。最後は伊勢原の升屋で打ち上げでした。
　３人から始まった山行が、７人になり１３人になり１６人になっていくという、このダイナミックな山行は、藤沢山の会ならではという感を強くしました。総勢２２名の会員が山行をともにしてくれました。皆さんのご協力に感謝します。

次のサポート隊と一緒に　　塔ヶ岳（20日）

最後のサポート隊と一緒に　大山山頂　(20日)

＊＊＊ コースタイム ＊＊＊

9／16　雨
藤沢14.17＝＝14.38国府津14.54＝＝15.52御殿場16.10＝ﾊﾞｽ＝篭坂峠17.00

9／17　晴
篭坂峠6.05―⑧―⑧―⑩―8.32ｽﾞﾅ坂峠8.40―8.50三国山8.57―9.11三国峠9.30―9.54鉄砲木の頭10.05―⑦―10.53切通峠10.56―⑤―(25)―⑥―13.15大棚の頭13.28―14.00大棚の頭14.05―⑤―14.45石保土山14.55―15.23西沢の頭15.32―15.55樅ノ木沢の頭16.02―16.25油沢の頭16.34―17.06ブナの丸17.10―⑤―17.43菰釣山17.48―18.05菰釣避難小屋着
　行動時間：12時間　　歩程時間：8時間48分　　歩行距離：約18km

9／18　朝快晴の晴れ時々曇り
菰釣避難小屋6.15―⑥―7.03中ノ丸7.08―7.40城ヶ尾山7.47―7.53城ヶ尾峠7.56―8.25大界木山8.32―⑧―9.21モロクボ沢ノ頭9.26―9.56バンの木10.06―⑤―⑨―11.23水晶沢ノ頭11.30―11.48白石峠12.12―12.34加入道山12.39―13.04破風口13.10―13.50大室山分岐13.54―14.00大室山頂上14.01―14.05大室山分岐14.10―⑤―15.10犬越路避難小屋着
　行動時間：8時間55分　　歩程時間：6時間54分　　歩行距離：約13km

9／19　晴 時々曇り一時雨
犬越路避難小屋6.20―④―⑦―⑥―8.38神の川への分岐8.46―⑧―9.23檜洞丸山頂9.55―10.35金山谷乗越10.45―11.18神ノ川乗越11.22―11.53臼ヶ岳山頂12.23―⑤―⑦―13.54蛭ヶ岳山頂14.08―⑤―15.17水場15.39―16.14丹沢山着（みやま山荘）
　行動時間：9時間54分　　歩程時間：7時間21分　　歩行距離：約11km

9／20　晴 のち曇り一時雨
丹沢山みやま山荘6.40―7.03竜ヶ馬場7.09―7.55塔ヶ岳山頂8.08―8.48大日岳山頂8.58―9.45行者岳9.54―10.18烏尾山10.22―11.00三ノ塔山頂11.22―11.37二ノ塔―12.18林道出合12.30―12.40車道12.42―12.44富士見山荘前12.50―13.50ヤビツ峠13.25―⑤―⑥―14.51大山山頂15.10―16.09見晴台16.20―17.02林道出合17.13―17.50日向薬師バス停着
　行動時間：11時間10分　　歩程時間：8時間44分　　歩行距離：約17km

４日間の行動時間：41時間59分
〃　歩程時間：31時間47分
〃　歩行距離：約59ｋｍ

＊＊＊　費用　＊＊＊

バス代	御殿場駅～篭坂峠	800円
	日向薬師～伊勢原駅	270円
宿泊代	みやま山荘	7000円

山岳会における民主主義と会の運営

2010.10.5　中山　建生

かって、ある山岳団体の幹部は「山岳会に民主主義はいらない。リーダーの権限を犯すもので登山には馴染まない」と主張し、この意見に賛成する人達はかなりいました。勤労者山岳連盟の考え方はこれに批判的でした。なぜなら、日本の登山界に巣くっていたのは権威主義と徒弟主義が一体となり、リーダーの決定は正しく、だれもこれを批判したり、意見を述べてはいけないとされたからです。当時のスポーツ団体は多かれ少なかれ戦前の体質を引きずっていたからです。民主的な運営や自由な発言と行動などは赤の言うことで聞くのも嫌だとされました。とくに登山中のリーダーの決定に対しては一切意見を言ってはならず、無条件に従うものと主張され、労山のなかの指導者も暗にこれを認める人達がいました。規約の問題を通じて、民主主義について触れたので、現実に起きた事件や問題がどのように語られ、当時の指導者たちの考え方を知ることは意味があるでしょう。いまなお、リーダーの独裁を仕方がない、必要悪だと考える人達はいます。民主主義の根幹は人が大切にされ、尊重されることです。意見の違いや生活の違いにより差別を受けたり、排除されることは許されないのですが、いつのまにか貧困と差別があらゆる場所に拡大されてしまいました。多分、皆さんは日々の生活の中で多くを感じているでしょう。ところで、リーダーの独裁を認めることの意見は「会員すべてが平等で物事の決定が多数決になるなら、リーダーは会員の意見を聞かなければ決定ができないことになり、生き死にに関わるような緊急時にこんなことをしていては全く役に立たない」というものでした。続いて、山岳会の決めごと、運営にまでこの論理を発展させて、自分の意見に従わないなら止めさせるというところに至りました。かって神奈川でも同様の事件が、全国でも同じようなことが起きた背景には民主主義の理解と習熟に重大な欠点を持っていたと思います。今、こうした民主主義に関わる問題が浮かんできません。私は危機感を持っています。自由に意見を言い物事の真実を求めるというより、少数意見を持ちながら黙っていて、大勢に従うというように感ずるからです。先の仲間外れになりたくないという気持が消極的な生き方にさせています。民主主義が当たり前のように思われても実際には脆弱だと思います。山岳会の活動も規律が守られず、停滞すると「強い指導者」を待望する空気が生まれます。自分は先頭に立たないがひっぱってほしいという願望です。この空気はやがて無秩序の馴合になるか、カリスマ的な指導者の元でがんがん行くのか両極に別れることがあります。どちらにしても会員の不満や不平で、やがてこれが立ち行かなくなると「おれ達は止める」という脅しが入ります。神奈川でもこの種の問題はいつも起きました。会を再生させるにしても時間と労力を要することになります。民主主義の成立はまず相手の立場を尊重することから始まります。自分の意見や要求と異なるものを認めるという関係でもあります。このことは自分の意見を捨てるとか安易に妥協するかではありません。自分を大事にしてもらいたいなら相手も大事にしなくてはなりません。簡単な道理です。求める答えが一つではないこともあります。だから黙っていてはいけないのです。初めに触れた登山におけるリーダーの役割や権限に関して、機械的な平等を民主主義と考える人はいないでしょう。命が懸かる瀬戸際で多数決を主張する人もいないでしょう。もっとも経験と能力がある人をリーダーに選んだとしたら彼を信頼してその決定に従うことは全く理にかなっています。この問題を登山に関係のない人は登山者には常識がないのねと言いました。

―規約改正3―

規約は有効に働いているのか　規範は皆の気持しだい

2010. 10. 12　10月事務局長会議　中山　建生

「規約改正の提案と民主主義について」というタイトルで権利は皆さんにあると報告しました。次ぎなるテーマは現在の規約規定が有効に働いているのかどうかです。皆さんが規約も規定もその中身を知らないというなら、あってもないと同様で、知らないということ自体が問題ですが、規約の働きはないものになります。知らないのは皆さんの正当な弁明にはなりませんが、困難な状態にあることは確かです。

皆さんは会の決まりや約束事は知っているでしょう。知っていてこれを守らないとすればこれも決まりに有効な働き＝価値がないことになります。

一般に３つの状態があります。連盟規約はあなたの会ではどこに当てはまるのでしょうか。

消極的な順法状態（不安定さの目安）から強い否定まで。

(1)現在の規約規定に対して強い満足、強い不満がないこと。または慣れからくる服従、無関心、受け身の態度で、強いて違反しない状態でもあります。この状態は「一応の安定を保つ」のですが健全な状態ではありません。なにかの外力が加わるか、気分により変わってしまうからです。脆弱さが隠れています。

(2)次は不平不満を抱えながら我慢する態度は潜在的な不服従です。

(3)基本的な理念や方針に対して反感を持つ場合にはこれに従わないという態度になります。

規約に対してこれを守ろう、発展させせようとする態度は(1)規約が正当な評価を受けていることです。また(2)規約の元とで執行する人達が信頼されていることです。今、この(2)の問題に関わることが昨年の３月からずっと続いています。連盟に対する期待がないのか、連盟が連盟員の意志から離れているのかのいずれかです。連盟の理事になって連盟活動を支えようとする意欲が失われています。規約との関係からは理事を選出する権利をあなたが放棄していることになります。「権利に眠るものは権利を主張し得ない」この場合の権利とは権利一般を意味します。組織の成立が自主的で自立したものと言えなくなります。

先の10月２日、３日に全国の遭難対策会議が開かれました。遭難事故の多発を防止しょうと努力する一つとして「指導員制度」を確立するという話がありました。神奈川では今回の規約規定の改正、改廃で指導員制度をなくしました。なくした理由は当時の鹿島鎗ケ岳の積雪期の捜索、岩場の捜索が念頭にありこれに対応するものでしたから、現在、例えば全国の雪崩講師の養成のような指導員養成とは大きく異なります。今求められているのは、登山の知識や技術を基本から指導者クラスまでに教えることのできる人材の養成に関心があります。ハイキングの世界でも指導者の資質や基準を明確にとその作業を開始しました。何年も前から言われ続けている指導者の養成が少しも実現しないのには理由があります。由としたらまず計画の内容、予算、人材、スケジュール、点検と評価、教育実習による試験、さらには会や連盟での指導経験を積ませることです。組織の側の役割と受講する側の意志がマッチしなくては継続しません。これは実技指導に限らず、理念や社会的な関わり、さまざまな運動や政策にも通じた人材が必要です。ドイツのガイド＝専門家になるには登山のことはもちろん、自然に関する民話、星座、動植物、他のスポーツとトレーニング法、人に接する態度や人格の向上など、さまざまな体験を通して研かれます。あなたが指導者として仰ぐ人はどのような人達でしょうか。

最新の雪崩学とビーコン等について質問・疑問を

2010. 10. 15　中山　建生

雪崩に関して、ビーコンに関して質問、疑問があればお寄せください。私が回答します。雪崩に関する専門的な質問があれば同僚に確認のうえ回答します。

年末からの冬山に行こうとする人達は12月に入ったら気象の推移を記録しましょう。記録するデータは一般的な新聞に報告される内容と７００hpsの高層気象のデータを取りましょう。初めに気温は最低気温を折れ線グラフに表しましょう。風力と風向は風下斜面の吹き溜まりを推定させる情報となります。高層気象からは寒気の南下と移動が予測され、一定の冬型周期が読み取れるでしょう。雪崩の危険予知はあらかじめえられる情報の解析で理論的な答えを得ることができます。これは危険の可能性で、雪崩るのか＝100%、雪崩ないのか＝0%なのかを決めることではなく、危険の可能性は小、危険の可能性は半分、危険の可能性は大きいなどと範囲は漠然としています。多くの人達は１００か０かを求めますが、現在の雪崩学ではこの判定はできません。判定の項目を点数制にして、その合計値１００のうち７５の危険性があるする考え方があります。しかし、皆さんには観測データをもとにした評価、この方法は使えないでしょう。登山や滑走では前記のおおまかな判定法で十分に役立ちます。

現在、登山者や滑走者に教えている雪崩判断の基本要素からの判定にしても、雪質と雪のなかの弱い部分＝弱層の判別にはルーペなどの利用と観察経験が必要です。傾斜や斜面の凹凸に関しても雪が降る前の状態を知っていなくてはなりません。夏に偵察をするなど、雪が降ってから全てを間に合せることはできません。気温の上昇下降による雪質の変化は雪崩理論の中核ですが、部分的な理解よりも全体を組合せて総合的な判断をするカを付けなくてはなりません。

日本の雪崩教育はとても精緻で理論的ですが、アメリカなどでは大雑把で実用の世界と割り切った教えをします。傾斜と降雪量だけで、または雪の上で簡単な刺激を与えて、判断した結果が危険であれば回避する、つまり登山を、滑走を中止して別の機会にするとした合理性です。もちろん指導者は専門的な知識も訓練も受けていますが、生徒の要求や能力に合わせ、ずばっと本質を突いてきます。日本人は「せっかく来たのだから、行けるところまで行こう」とします。事故を回避するという基本的な態度がありません。だから事故後に「こんな所で雪崩が起きるなんて思わなかった」と発言する人が後を断ちません。この後に続く言葉が「自分は冬山のベテランで何回も登っている」と言います。雪崩の危険判断をして登ったとは言いません。

雪崩事故の主たる原因は「雪崩のことを知らない＝無知」であったことです。冬山に登る、滑走するなら雪崩のことに関心を持ち、万一の時に備える訓練や装備を持って出掛けるのが責任ある態度だと思います。勉強して分からないことがあればいつでも質問してください。ビーコンは会ごとに、二人いれ

ばどこでも練習できます。まずは自分のできることをしてみましょう。ビーコンの練習は簡単ですが、現実に起きる事故は複雑でたいていは普段の３割程度しか動けませんし、負荷がかかるとまるで意気地がなくなってしまう人もいます。普段からストレスや危機管理の訓練をしておかないと役たたないのですが、この種の訓練は日本では全く行なわれていないでしょう。私はボーダーたちに試してきましたがすでに5年以上も続けています。興味があれば、毎日の生活や行動から試してみるといいでしょう。雪の中に限る必要はありません。

湘南鷹取山の清掃に参加して

横須賀市と同市観光協会から、県労山へ鷹取山の美化と安全のための清掃作業に協力されたいとの要請があった。我々の、良き練習場としてお世話になってもいる事から、９月５日の当日、使うはずは無いだろうと思いながらも、念のためザイル・カラビナ・スリング等を持って参加した。全く今年の暑さには、辟易したものだが、この日も猛暑を約束するかのように、家を出る早々から汗ばむほどであった。

公園の東屋に着くと間もなく、市の担当者が来て、近年公園内の雑木雑草の繁茂による岩の割れ目の拡大とそれによる落石の危険性が大きくなった事。従って管理する側として看過できないほどになった。そのため公園としては、止か無く立ち入り禁止区域を増やしてはきたが、とても追い着くものではない。従って日ごろ利用される皆さんの協力をいただきたい。との挨拶を受けた後、労山参加者１１名は、数年前労山が確保トレを実施した広い壁面を持つ、通称〔電光クラック〕前面の二重の鉄冊で囲まれた広場の、葛を主体とした草場と格闘することとなった。

場所によっては人の背丈を越す下草の排除からはじまった。ここは二重の鉄柵によって入が侵入しないようにされているためか、さながら雑草の育成場と化している。　とにかくシクシクと痒い。特に背丈の高い草に顔を払われたり、猛暑も加わり、随分と難儀をさせられた。２ﾘｯﾄﾙ持参した水は瞬く間に飲み干してしまった。そのせいか、ズボンまで汗で濡れてきた。昼食らしい昼食も摂らず草刈の後は電光クラック壁面に根を張った雑木の切り倒しと、壁面に根を張り繁茂した、つる草の除去である。

垂直の壁面のつる草を、どう除去するか？　この雑草が岩の養分を吸い取るために岩の質が脆くなるのであろう。だから何としても除去しなければならないと思う。

思案の結果人木田さんの巧みなリイドで、つる草の要所要所にスリングを絡め、ザイルに纏めて、参加者全員で気合をあわせ、引っ張ることにした。ここに来てまさか使う事はあるまい。と考えていたザイルが絶好のツールとなったのである。全員力の限り声を合わせ曳くにつけ、壁面にジブトクしがみ付いていた、つる草が、絨毯をめくる様に岩肌を見せ始めた。

一同更に声を高めて曳きあげると次第に曳きあがる幅が広がり、ついには最上部に至るまで剥ぎ取ることができた。

作業場を変え、同じ方法でつる草をザイルで引き剥がす事をくりかえし、ついには壁面全体が以前の姿を表したときには、全員で大きな歓声と伴に腕を振り挙げていた。

ビイ、ヒイ、ハア、ハア。言いながらも、夫々の参加者が、それぞれの達成感を味わったのであろう。暑くてシンドイ一日だった。

横浜ハイキングクラブ　増田徹

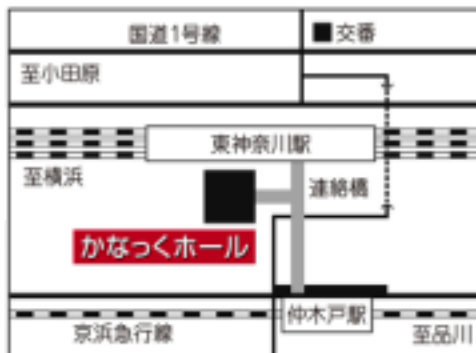
第12回全国海外登山集会の案内
今年の全国連盟隊（シシャパンマ）の登山報告などが行われます。
【日時】　2010年11月27日（土）13時～21時
【会場】　日本勤労者山岳連盟事務所1階会議室
【記念講演】近藤和美 氏
【参加費】　資料代・交流会費 3,000円／ 講演会・報告参加 1,000円（資料代のみ）
交流会のみ参加　2,000円
【申込み先】日本勤労者山岳連盟　電話03-3260-6331 Fax03-3235-4324

トリコシ アキオ
鳥越章夫・写真展 ～ 光画風景Ⅱ ～

いつの頃からか自然の中の光を追い
足下に咲く花の声に耳を澄ませるようになり
その姿を写真に託しました
ぜひご高覧いただきたく、ご案内を申し上げます

第１会場：秦野市、『ぎゃらりー・ぜん』

（※ １１月２１日、２８日に在廊しています ※）

２０１０年１１月２１日（日）～２８日（日）
am10:00 － pm6:00（※最終日pm5:00まで）（※入場無料※）

第２会場：「かなっく・ホール」ギャラリーＢ

（ＪＲ東神奈川駅・南口を出てすぐ右手にあるビルです）
（※ １２月１８日、１９日に在廊しています ※）

２０１０年１２月１５日（水）～１９日（日）
am10:00 － pm6:00（※最終日pm5:00まで）（※入場無料※）

１０月２５日　自然保護委員会議事録

出席者　大用（川崎ＨＣ）、渡辺（相模ＡＣ）、高橋・萩原（藤沢ＹＫ）、三上（こぶし）、伊藤（横浜ＨＣ）吉崎（芝笛）、永井（カモの会）、関根（みずなら）

① クリーンハイク報告集配布について
　全国集会用・・３０部位
　一般参加者用、協賛団体用、県庁、七沢自然保全ｾﾝﾀｰ、・・３０～４０部
　各会へは渡せる部数を各会委員の方に任せる。
　６００部作成しましたので、出来るだけ全員に。
　次回部数については、要検討。

② 不動尻クリーンハイク
　参加（９会　２９名）
　参加した実感・・行ってホントに良かった。楽しく大山が綺麗になっていくんだなあと実感
　１/３弱のゴミ回収が出来たと思う。重かった。
　１１月号にのる感想文を依頼する。

③ クリーンピア活動
　藤沢山の会・・大野山ＣＨ
　小田原ナーゲル・・金時山
　相模ＡＣ・・広沢寺
　川崎ＨＣ・・大山不動尻
　コップ１０・・２年に１度開催
　ボラネット等のシステムについて説明会を１月頃に予定

④ 全国自然保護集会参加について
　〆切り　１１/１３迄　高橋（藤沢山の会）がまとめます。
　現在　宿泊（５名）・　２７日のみ参加（５名）

⑤ 自然保護委員会主催・天城山自然保護観察会及び懇親会（１１/２０・２１）
　現在６名参加予定。２０名位は宿泊可能ですので、配車可能な方及参加者募集です。記　関根

10.17ファーストエイド講習会報告

神奈川県勤労者山岳連盟　ファーストエイド講習会の感想

徳田英次（リーダー学校初級、カモの会）

2010年10月17日日曜日に行われたファーストエイド講習会に参加しました。

講習会は9時半から18時にかけて行われました。当初の予定は17時でしたが、全員がシミュレーションを行うために時間を延長して行われました。

講師は、元MFAインストラクターの高津氏でした。とてもパワフルな女性講師です。ちなみにMFAとは、民間の応急救護プログラムを指導する団体です。

リーダー学校からは、田村講師、宮沢講師、飯塚講師、神野講師、中級の荻原さん、小島さん、長谷川さん、初級の佐藤さん、八島さん、近藤さん、永井さん、古山さん、亀山さん、庄田さん、徳田が参加しました。

午前中は、資料を使って、ファーストエイドの考え方、傷病者へのアプローチの仕方、止血の基礎知識、三角巾の使い方などを学習し、午後には三角巾やストッキングを使って捻挫や骨折の場合の固定、ザック担架の作り方や注意点、また受講生全員でグループを作ってファーストエイドのシミュレーションが行われました。ファーストエイドの考え方の中では傷病者に対する配慮が強調されていたことが印象的でした。講習は実技と講義がバランスよくミックスされ、真剣かつ笑いながら楽しく進められました。

今回の講習で、三角巾は役に立つから必ずザックに入れておこう！と思いました。今まで別にタオルとかあるからいらないのではないかと考えていましたが、あの三角形の形と大きさがほんとに時代を経て洗練されたものなのだなと改めて思いました。また結びかたも統一されていて、誰でもすぐに解くことができるように決められているなんて！やっぱり一度しっかり習っておいてよかったです。

またファーストエイドのシミュレーションでは、田村講師や宮沢講師が迫真の傷病者役で、受講生たちは実際に近い感覚でシミュレーションを行うことができました。怪我などもリアルに作っていて、まさにいいシミュレーションになりました。実際にシミュレーションを行って見ると、どうしようか、どうしようかということに注意がいってしまって、傷病者に対する配慮というのがおろそかになってしまうというのが、よくわかりました。何度もトレーニングしておいて、はじめて傷病者に対する配慮が可能になるなあと思ったしだいです。

インストラクターの高津講師もおっしゃっていましたが、やはりこのような講習会は何度も受けて初めて実際に役に立てられるものだなと思いました。今後も機会があればできるだけ逃さずに参加するようにしたいと思います。

以上、簡単な感想でした。

ファーストエイド講習会に参加してみて

雪童山の会　佐藤万樹子

以前大倉尾根を下っていたとき、転倒して額から血を流している女性がいたのですが、自分はカットバンさえ持っていなかったので何もしてあげられなかったことがあります。

やはり救急セットを必ず携行すること、そしてと基本的な処置の仕方は知っておくべきだと思いました。

２つ目。

昨年友人が北岳で心肺停止状態の男性に遭遇したのですが、その際の搬送の手段としてかねてより習っていた「ザック担架」が非常に役立ったそうです。

滅多に使う機会のない技術ですのでどこか他人事のように感じてしまいがちですが、実際に使ったという話を聞くと、やはり「いざという時」は来ること、そうして時何もできないなんてことにならないよう、こうした技術を使えるようにしておくことの必要性を感じます。

応急処置の仕方、そしてザック担架。今回の講習会では両方教えていただきました。繰り返しやらないと身につかないことですので、こうした貴重な講習の機会を逃さず毎年受講していこうと思います。

常任理事会議事録

2010/11/01（月）19:30～

出席者　中山会長、後藤理事長、田村副理事長、増田、大用、蝦名、三上、海輪、西川委員、池上委員

自然保護委員会（大用）
- 全国自然保護集会は神奈川から10名が参加予定

機関誌（三上）
- 鳥越理事写真展のお知らせ掲載
- 12/14機関誌担当者会議予定（藤沢、ＡＣ横浜、相模ＡＣ、みずなら予定）
- 事務局部会が編集委員会も兼ねているので別に編集委員会を設定したい。

ハイキング委員会（増田）
- 10/23は権現山バリエーションルートを読図した。少し外れたら恐ろしいことが理解できた。
- ハイキング受講者と話がしたい。（中山）中身の問題を聞き取りなど。

田村副理事長（全国理事）より
- 全国拡大理事会・・・個人会員制概要が全国理事に配布された。

＜遭対部＞
- ＦＡ講習（10/23）・・・アシスタント含め全体的にレベル低下した感がある。
- 藤沢山の会・・・ビバーク等出張講習を行った。やや詰め込みすぎという感想があった。
　アシスタントが不足している。
- 今年度末までに全国に対して安全対策基金の申請を教育部にお願いします。

財政（蝦名）
- 緑と星に対し請求中。カモは遅れがち。
- 蝦名理事体調不良のため今期限りで退任意向。

事務局（西川・池上）
- 基金の会員名簿の個人情報はどの部分まで新会員カードに埋め込まれるのか
→全国連盟井芹副理事長に確認（11/8までに）
各会から11月末までに全国に直接提出してもらう。
- 県連ニュースの巻頭言を各会にお願いしたが、巻頭言は連盟の顔なので三役にお願いしたい。各会には投稿欄という形で改めてお願いした。

（中山）
　三役だけでなく常任理事全員でよいと思う。

（田村）
　１月・後藤、２月・田村
- 来年３月総会の原稿締め切り（総括・方針）の〆切は12/31までに。
- 次期理事候補はＬ学校卒業者やハイキングＬ学校卒業者に声掛けをしたいが。
　理事に対して常任理事を薦めたり、部員に対して理事を薦めたりお願いしたい。
　各部の部員名簿を西川事務局部員に対して提出してほしい。

中山会長
- シングルアンテナビーコンではもう教えないでください。
　Ｆ１－３＋はアンテナ調整中でまだ出ていない。
　携帯の影響を受けるものとそうでないものがある。取扱説明書には記載していない。
　一部エラーメッセージが出てしまう。
　ピープスＤＳＰを現段階では薦める。ただし他電波に対してデリケートなので注意。

後藤理事長
- 有料のガイドや講習において個人賠償保険が昨年の事故以来撤退傾向である。

西川部員から
- 12/25（土）に理事、常任理事、部局員有志で望年会を実施したい。

10月 事務局長会議　議事録

2010年10月12日(火)　7:20開始、
　司会：池上事務局次長
出席者：小池（川崎労山）･伊藤（川崎HC）･砂原（柴笛）･長谷川（AC横浜）･丸尾（横浜HC）･矢萩（藤沢）･蝦名（相模AC）･黒井（雪童）･青柳（山ﾌﾞｷ）･尾形（ﾒｰｸﾞﾘ家）
理事等：中山（会長）･蝦名（財政）･三上（機関誌）･池上（事務局次長）･西川（事務局部員/記録）
【Ⅰ】県連からの連絡事項（連盟ニュース10月号参照）
○　カレンダーを注文数配布します。今年は少し減らして100部注文しましたが、まだ半分残っていますので、各会で呼び掛けて下さい。来月の11月に持っていって戴ければ会員に今年中に届くと思いますので、宜しくお願い致します。特に川崎HCさんは、例年30部注文が有りますが、今年はまだ注文が有りませんので、宜しくお願い致します。今年も同数注文して戴けるのであれば、重いのでザックを用意してください。事前に西川まで部数をメールでお知らせ下さい。
○　クリーンハイク報告書が出来ましたので、参加者数＋２部を持参して下さい。
○　「ハイキングセカンド･ステップ」が、各会に１冊郵送されていますので、教育に活用して下さい。注文は直接全国へ。1冊400円です。（30冊以上で350円）
○　巻頭言について：3ヶ月前から各会交代で書いて戴きたいとお願いしています。会の要望とかご意見を書いて欲しいのですが、まだどの会からも来ていません。事務局長さん、正副会長さん等の3役以外の方、どなたでも結構です。
○　10/3（日）丹沢クリーンハイク（不動尻コース）

の参加者は、９会で29名。173.5kgのゴミを回収。大変重かった。ヒルはいなかった。参加された方有り難うございました。（連盟ニュース7頁参照）
○　10/2（土）～3（日）ハイキングリーダ学校実技（赤岳テント泊）受講生6名、講師3名参加
○　10/2（土）～3（日）アルパインリーダ学校実技（三つ峠）
○　10/2（土）～3（日）第12回全国遭難対策担当者会議（全国事務所）田村副理事長出席。１月から現時点まで10名の死亡者が出ている。
○　先月の雨で「寄」の方も通行止めとの事。申し訳有りませんが詳細は不明です。
○　「加盟団体調査表」の提出をお願いします。後日、未提出の会の方に、メールを出させて戴きます。

【２】各会からの報告(怪我・トラブル等報告)
今まで報告のある人だけに話して貰いましたが、交代で出席される方が多く、会と出席者が一致しませんので、今日は、全員に一言、会名･氏名･ケガ等について話して戴きます。
＜横浜HC＞丸尾真知子です。怪我はナシ。今年は全員１回はリーダをやる事になり、皆頑張っている。規約改正については、先月会員におろしたのでみんなで話す機会が有ればいいなと思っている。
＜藤沢山の会＞矢萩早苗です。２回目の出席です。今年30周年の年で、記念山行が終わり、記念誌作りの準備をしている。ケガは有りません。
＜AC横浜＞長谷川孝義です。当番制で初めての出席です。４月にYHCから入会しました。事故ナシ。
＜川崎HC＞伊沢潤です。輪番制で初めての出席です。
＜メーグリ家＞尾形忠です。特に有りません。
＜雪童山の会＞黒井由貴です。４人で交代、初めての出席です。入会して１年半です。ケガなしです。これからは、年末年始の冬山に向けてのトレーニングです。
＜相模AC＞蝦名政次です。事務局長の代理です。10月31日（日）に救急救命（心肺蘇生）講習会を実施。
＜山ブキ＞青柳です。報告する事はありません。
＜川崎労山＞小池秀子です。会としては有りません。個人的になりますが、3連休に「労山5周年記念」で女性委員会主催の「栗駒山」に行ってきました。皆さんの下準備が素晴らしくて大変感激しました。感謝で一杯です。また機会が有りましたら参加したいです。
＜川崎柴笛＞砂原浩二です。9月26日（日）に会山行で三頭山に行って、１人が両足をつって動けなくなりました。急遽ストックで背負子を作り、他のメンバーが背中にしょって下山。尾根を下って、救急車を呼んで病院に搬送されました。強い「こむら返り」と診断。病院では、水分不足と言われたが、医療関係に勤めている会員の話では、十二指腸潰瘍をやった事の有る人は、水分･塩分だけでなく糖分も摂る必要が有るとの事。現在は治っている。1回つった人は、またつる事が有るので、ツムラの芍薬甘草湯（ｼｬｸﾔｸｶﾝｿﾞｳﾄｳ）を処方して貰って下さい。
＜西川註＞「処方薬」は、用法･容量など医師の管理下で使用される薬なので、他人にあげてはいけない様です。

【３】その他
＜規約規定＞改正について
○　AC横浜：明日やると思います。
○　横浜HC：6名分の資料が来たので、６名の人に家に持ち帰って検討して貰う事になった。
○　１１月の事務局長会議に中山会長が出席しますので、判らないことが有りましたら質問して下さい。
○　12月の事務局長会議に、感想文を提出して戴きます。
＜連盟ニュース＞に載せる山行報告
○　11月：藤沢山の会、12月：山ブキの会、1月：川崎労山（未確認）、2月：横浜HC です。
＜会計担当＞蝦名さんから
○　8～10月分の領収証をお渡しします。
○　11～1月分の連盟費の請求書を、今月末に会計担当者に出します。県財政は、毎年繰越金が無くなるこの時期が一番苦しい時ですので、お願いが有ります。請求書が届きましたら、出来るだけ早く振り込んで戴く様に会計の方にお話下さい。宜しくお願い致します。

＜特集＞2010年度　関東ブロック 役員交流会 報告
2010/10/12　事務局長会議
県連事務局部員 西川憲男
［期日］：2010年9月25日(土)～26日(日)
[会場]：赤れんが（清里）
［参加］：後藤理事長（25日）＆西川事務局部員
［司会］：主管の山梨（菊地事務局長）
○　各県の報告をお願い致します。プロジェクターが有りますのでご利用下さい。名簿順で行います。
＜東京＞都連盟事務局長を4月からやっています元井です。
・　個人会員制の件は全く進展していませんが、理事会としては、来月からやっていく。
・　「ランドネ」と言う雑誌ご存知ですか、「山ガール」のバイブルです。一読してみては。
・　理事長の三尾です。7/24の事故を受け、昨日も「特別事故調査委員会」が有った。事故の起きた直後に、都連盟・労山全体に対するバッシングが有り、まだ立ち直っていない状況。
（事故について、プロジェクターで写真を見ながら、三尾理事長が報告する）
・　沢教室は今年で4回目。引率登山の沢教室だが、小野さんは卒業生で、スタッフ的な立場で参加。
・　訴訟になった時、誰が訴えられるか。労山の場合訴える相手がいないので、個人になる。是非NPOなり社団法人なりを取る形でやるべきと思う。
・　東京だけでなく、千葉・神奈川・埼玉等で連合軍を組んで組織を作るべきだ。優秀な人材を集めて、全知全能を傾けてカリキュラム作って、シラバス作ってやるべきだ。
＊　＜シラバス(Syllabus)＞とは、日本では講義・

授業の大まかな学習計画のこと。米国では、各回講義内容から教員連絡方法まで、個別講義の受講に関して必要な情報をすべて盛り込んだメモのこと。
＊　シラバスを作成する利点は、①学習の流れを学生が理解し、円滑に授業を受けられる　②指導者にとっても、学生に対して円滑に指導を進められる
・　訴えられるのは、主催した都連の会長・理事長ではない。都連には人格がないので、代表者としての個人になる。
・　おさらいすると、刑事裁判は検察庁、民事裁判は小野さんの遺族が、誰を相手取ってやるかはその人の自由。弁護士と相談すれば、会長や理事長を相手にしても監督義務しか無いので、直接のリーダに対して訴訟を起こす方が、勝ち目が有るのでそうなると思う。ﾙｰﾄｾｯﾀｰ・ビレーヤーが訴えられる。
・　法人の資格を取るのは大きな問題では有るので、今の労山の組織の中で、全国連盟として法人を取る事のメリット、デメリットの整理が必要で有る。
・　教室等で、最近事故が多い。ヒューマンエラー的なものも有ると思う。そこの処をきちっとする事は、法人化とは全く関係ないとは言えないが、早急に自分達のやらなければならない事は何なんだと見極めた後に、そう言う問題が出てくるのでは。
・　全国連盟に、統一的な指導教育と言う制度が無い。岳連の様な指導員制度が50年経っても労山には何もない。そこに根本的な問題が有る。バラバラでやっている。今回の事故でも誰がどう言う資格を持ってやっているのか不明である。
・　岳連には指導員制度が有るが、労山も欲しい。社団なりNPOを取りたい。
・　埼玉の矢崎です。全国遭対部に10年ほど席をおいている。どちらかと言えば、私は安全の問題については生真面目に考えている。行ける山と行きたい山とは違うので、行きたい山のそのレベルに見合った準備をする事を前提にしたクラブにしないと。
・　埼玉県連でチョキカルキ6,300㍍に登山隊を出すときに、高所順応を含めて準備をして、事故を起こさない様に体制を整えていかないとダメだと話した。その前の年、福島県連で5,000ｍの登攀を行い、5人の内3人が高度障害になった。
・　各都道府県連盟の幹部の意識が、「遊びの世界なんだからあまり几帳面な事言うな」と言う意見が強い。だからそこを突破しないとダメ。
＜神奈川＞　後藤理事長から、リーダ学校沢登り実技（源次郎沢）での、事故に付いて報告が有り、事務局長会議について西川が報告。
＜埼玉県＞　連理事長の武笠（ﾑｶｻ）と言います。4年目です。ホームページを立ち上げて1年半です。
・　教育遭対は、埼玉では「事故防止安全教育」と名前を変えて実施。
・　登山学校は今年で15期目。卒業生が登山学校の指導者になるようにしている。15年間事故無し。危ない岩・冬山には、主催者賠償保険に加入している。
・　ハイキン委員会の担当の副理事長の矢崎です。「心拍数の管理実験登山」：昨年県内で3～4回実施。
・　目的は、最初から最後まで同じペースで歩く方法を長年やっていたが、実験登山をやってみて、最初はうんと抑えて歩いた方が快適に歩けることが、心拍数の実験でデータを取って判った。
・　最初の30分をうんと抑えて楽々ノンビリのペースで歩き、1時間までのペースは「きつい」を全く感じない歩き方で抑えて歩き、少しずつペースを上げていく。実際に心拍数管理をやって歩いてみると、標準時間より楽々歩く事が出来た、言う結果が出た。
・　スポーツ選手は毎日の様にトレーニングをしているので、ウオームアップはすぐ出来る。登山者は殆ど日常トレーニングしていないので、心拍計を付けて実験登山（30何人参加）をやると、9割が2時間以上に亘ってウオームアップされていく。1割の３人は、スポーツ選手と同等の１時間以内でウオームアップが成功している。
・　最初抑えて、体が温まってから少しずつペースを上げて行く歩き方をすると「快適に早く歩ける」と言うデータが出た。
・　個人個人心拍数は皆違う。10人居れば10人違う。「心拍数の管理実験登山」を4回やって、100名位の人を測定したが全員違う。変化の傾向を読むこと。
＜千葉＞　市民ハイクなどをやって会員拡大をやっている。ホームページから入った会員は頼りに成らないと個人的に感じている。
・　個人会員については、前向きに考えている。
＜栃木県＞　殆どがハイキングの会で、アルパインの会員拡大に努力している。
＜山梨＞　中道往還（なかみちおうかん）をプロジェクターで写真を見ながら説明が有った。
＜全国＞　後藤 功一 副理事長
　新メディア戦略　４年前から始めました。
　①　ナマステ（情報メールマガジン）　②　コーポレットキャスト（労山版ユーチューブ）
　　＊　ユーチューブ：2005年2月に設立された米ネットﾍﾞﾝﾁｬｰYouTube社が運営する動画コンテンツ共有サイト。
・　４月から全国化するので、各地方連盟は準備してください。
・　メールニュースを発信するので、メーリングリストを、連盟を通して全国連盟のメディア局に申請すれば、メールを送る（メール配信登録をした方を対象に送る）。これは、個人会員制にも将来大きな効力を発揮するが、今は組織会員のためにやる。基本的には、地方連盟を通じたメーリングリストに配信していく。月に２度送る。10月からバックナンバーを全て載せる。
・　テレメーター雨量計のデータを見る事が出来る。全国で8800ヶ所有る。9/15　19号から携帯でも見る事が出来る。丹沢湖と塔が岳のデータが有れば、行く前に丹沢全体の雨量を知る事できる。
・　労山版ユーチューブとは、情報を出す時は1分～3分でいいが、自分達で学習会をやる時は、パスワードを使えば、何時間でも使用出来る。ものすごい大きなサイズの画像もこのデータベースに入る時一番軽いサイズに成るので、殆どのパソコンが受けられる。
※　この件については、田村副理事長から12月の事務局長会議で話をして戴きます。

神奈川県勤労者山岳連盟各会の活動報告と予定

川崎ハイキングクラブ　報告:川上勝夫　計100名（男50 女50）　平均62歳

お詫び

受け取った活動報告を、パソコンが故障したために記載できませんでした。すみません。

川崎柴笛クラブ　報告：砂原浩二　計39名（男23 女16）平均48歳

10/1 黒岳(1)
10/2-3 女峰山(1)
10/2 谷川岳(4)
10/2-3 小川山(1+2)
10/3 大山ｸﾘｰﾝﾊｲｸ
10/6-7 甲斐駒ヶ岳(2)
10/2-3 三つ峠ﾘｰﾀﾞｰ学校
10/9-10 赤湯(4)
10/10-11 三頭山(2+1)
10/9-10 奥穂高(1+3)
10/9-11 明星山(3)
10/16-17 朝日岳(5)
10/10 湯河原幕岩(1+2)
10/17 湯河原幕岩(2)
10/15-16 甲府幕岩(1+3)
10/16-17 唐松岳(1+1)
10/16 二子山(1)
10/16 塔ノ岳(1+1)
10/17 日向山(1+1)
10/23 茶臼岳(1+2)
10/17 湯川(2+2)
10/23 日の出山(1)
10/23-24 妙高山(1)
10/23 湯河原幕岩(2)
10/23-24 飯豊山(1)
10/23-24 鷹ノ巣山(4)
10/31 塔ノ岳(1+1)

アルパインクラブ横浜　報告＝岸　直哉　計38名（男23：女15）平均　歳

10/2 甲斐駒ケ岳・黒戸尾根(1)
10/2 小川山(2+1)
10/2 塔ノ岳(1)
10/2-3 三ツ峠(2+24)
10/3 小川山(1+1)
10/3 湯河原幕岩(3)
10/7-8 南八ヶ岳・編笠山～西天狗岳(1)
10/8 八ヶ岳・小同心クラック,大同心南稜(1+1)
10/9 女峰山(1)
10/10-11 奥多摩全山一周（ハセツネ）(1)
10/10-11 奥穂高岳(1+2)
10/10-11 安達太良山(1+1)
10/12 雨山～塔の岳(1)
10/12-13 剱岳・早月尾根(2)
10/15 小川山(1+1)
10/16 大山(2)
10/17 精進湖・森林浴トレランレース(3)
10/18 高尾山(1+2)
10/18-19 有笠山(2+1)
10/22 甲府幕岩(1+1)
10/23-24 塔の岳～丹沢山(1+5)
10/23-24 赤岳(2)
10/24 大山(1)
10/31 信州戸隠トレイルレース(5)

横浜ハイキングクラブ　報告＝丸尾真知子　計54名（男22：女32）平均62歳

9/9 室内例会(42)
9/4 明神ヶ岳(13)、
9/5 芦ノ湖西岸(9)、
9/12 箱根 丸岳(12)、
9/1 大倉 三廻部：読図(4)、
9/26 巾着田-日和田山(17)
以上会山行
9/23 室内ｸﾗｲﾐﾝｸﾞ(県7)、
8/29-9/1 蓮華岳～針の木岳(7)、
9/4 西穂高岳(2)
9/4 奥多摩/越沢ﾊﾞｯﾄﾚｽ(2)、
9/12 表丹沢/鷹取山(下見)(4)、
9/18 阿弥陀岳(1)、
9/18-21 八甲田山・岩木山(2)、
9/19 東天狗岳～西天狗岳(1)、
9/19 日和田山～巾着田(下見)(2)
9/19、三ノ塔～塔ノ岳(3)、
9/21-22 宝剣岳～三ノ沢岳(2)、
9/23 鍋割山（1）、
9/25-26 苗場山（5）、
9/26 庚申山(2)
9/26 東丹沢・広沢寺(5)
10/14 室内例会(42)
10/3 大山・不動尻ｸﾘｰﾝﾊｲｸ県6）、
10/9-11 燧裏林道～尾瀬沼(4)
10/9-11 草津 白根山(11)、
10/16 箱根三国山(3)、
10/17 扇山～百蔵山(10)、
10/24 丹沢表尾根～三ノ塔(6)、
10/27-29 屋久島/縄文杉(5)、
10/2-3 八ヶ岳/赤岳(県9),
10/2-3 御坂山塊・三つ峠(県24)、
10/24 世附権現山(県11)、
10/2 高麗山～湘南平(2),
10/2 瑞牆山(4),
10/6 大山三峰(下見),
10/5-6 巻機山（3）,
10/5-8 北穂高岳～奥穂高岳（2）,
10/6 太平山-馬不入山(1)
10/11 三ノ塔～塔ノ岳(2)
10/11 六国見山～天園(2)
11/11 室内例会
11/6 伊豆ヶ岳,
11/7 信州上田,
11/14 妙義山,
11/21 倉見山,
11/23 大山三峰山、読図山行(初級)
11/28 石老山,

他会に通知したい事項
創立35周年記念イベントを控えています。
12月11日～12日に表丹沢において記念山行とイベントを企画しています。

横浜こぶしの会　報告=南雲哲男　計26名（男18人　女8人）　平均55歳

10/1-2 苗場山(1+α)
10.2 乾徳山(1)
10/8-11 朝日連峰-中止
10.8-11 鳳凰甲斐駒-中止
10/9-11 越後三山-中止
10/11 大山三峰(2)
10/23-24 上信越
10/30 筑波山-中止
11/3 県連セルフレスキュー講習会(5)+他
11.6 鶴ヶ鳥屋山

藤沢山の会　報告=中河原昭夫　計92名（男44：女48）平均64歳

10/1-2 北ｱ・御嶽山(13)
10/2-3 八ヶ岳・赤岳(県ＨＲ3)
10/2-3 上越・荒沢岳、未丈ヶ岳
10/3 丹沢大山(県ｸﾘｰﾝﾊｲｸ1)
10/3 富士周辺・三ツ峠岩トレ(2)
10/6 大菩薩・滝子山浜立尾根(3)
10/6 運営委員会
10/10 東北・栗駒山(11)
10/10 東北・栗駒山(2)
10/10 東北・南蔵王(9)
10/10-13 北ｱ涸沢奥穂(2)
10/11 丹沢大野山(下見1)
10/11 丹沢・塔ヶ岳(2)
10/12 機関誌「稜線」印刷
10/13　室内例会(33)

つづく

10/13-15 北関東 皇海山 武尊山(8)
10/14-15 北関東・男体山(2)
10/16 ｸﾞﾗﾝﾄﾞｷｬﾆｵﾝ-小富士(7)
10/16 富士周辺・高川山(会ﾊｲｸ2)
10/16富士周辺・三ツ峠(教育部岩実践10)
10/17 丹沢・鍋割山(2)
10/22 丹沢・弘法山、権現山(3)
10/23 講習会・ｾﾙﾌﾚｽｷｭｰ(37)
10/23-24 南ｱ・鳳凰三山(1)
10/24 高尾・景信山(会ﾊｲｸ15)
10/24 丹沢・世附権現山(県連ＨＬ4)
10/27 30周年記念記念誌編集委員会(6)
10/27 室内例会(41)
10/29 30周年実行委員会(7)
10/30 ｸﾘｰﾝﾊｲｸ「大野山」(中止)
10/21-11/11 ﾋﾏﾗﾔ:ｶﾗﾊﾟﾀｰﾙ・ｺﾞｰｷﾞｮ(1)
11/1-20 ﾋﾏﾗﾔ・ｺﾞｰｷﾞｮ(1)
11/3 運営委員会
11/6 南関東・大和市泉の森・芋煮会
11/7 笹子雁ヶ腹摺山
11/9 機関誌「稜線」印刷
11/10 室内例会
11/13-14 公民館まつり参加
11/15 入会説明会
11/17 雪山座学
11/20 丹沢・弘法山(自然保護部)
11/20-21 丹沢・前大沢(沢の集い打ち上げ)
11/21 丹沢・ｼﾀﾞﾝｺﾞ山(読図実技)
11/23 奥多摩・陣馬山 景信山(会ﾊｲｸ)
11/24 室内例会
11/28 南関東・鎌倉(会ﾊｲｸ)
11/29 30周年実行委員会

相模アルパインクラブ　報告:水村和也　計32名 (男22:女10) 平均53歳

9/19-23 雲ノ平・赤牛岳(2)
9/22 北八ヶ岳-麦草峠-東天狗岳(4)
9/23 広沢寺(2)
9/26 沖の源次郎(1)
9/25-26 小川山(2)
9/26 高尾山(1)
9/26 幕岩(1)
9/25-27 八ヶ岳縦走(1)
9/25-27 石鎚山(1)
10/1-3 前穂高岳(2)
10/2-3 富士山5合目(2)
10/2-3 湯川(2)
10/2-3 三つ峠(2)
10/1-3 米子沢(4)
10/5 塔ヶ岳(1)
10/7 幕岩(1)
10/10-11 日本山岳耐久レース(1)
10/9-11 那須 甲子温泉から大峠 流石山から大倉山(2)
10/8-11 白山三山(1)
10/10-11 雪彦山(1)
10/14 幕岩(1)
10/16 幕岩(1)
10/16 大山南稜(1)
10/16-17 小川山(4)
10/19-21 烏帽子岳(1)
10/21 幕岩(1)
10/22-23 奥日光 根名草山から奥鬼怒(2)
10/23 太刀岡山(2)
10/23-24 湯川(2)
10/22-24 槍ヶ岳(1)
10/23-24 芦生の森・・・京都・美山村(1)
10/26 広沢寺(レスキュートレ)(3)予定
10/25-26 北八ヶ岳(4)
10/31 救命講習会(心配蘇生法)
11/3 セルフ講習会

みずなら山の会　報告:末吉悦子　計36名 (男25 女11) 平均59歳

10/13 例会
10/15-17 尾瀬(2)
10/16 広沢寺(10)
10/17 県連ファーストエイド講習会(1+多数)
10/22 塔ノ岳(2)
10/23 丹沢山(1)
10/24 新人教育山行・丹沢源次郎尾根(4)
10/24-26 谷川岳周辺(1+1)
10/23-24 御前山周辺捜索(2+2)
10/23-25 南アルプス黒法師山(1+1)
10/31 両神山(2)
10/31-11/1 八ヶ岳天狗岳(3+1)
11/1-2 高尾山踏査(1)
11/2-4 高尾山踏査(2)
11/3 県連救助隊セルフレスキュー講習会(10)
11/7 妙義山・ヴァリエーション(6)
11/7 妙義山・ハイク
11/10 例会

カモの会　報告:森谷準一　計65名 (男46:女19)　平均36.2歳

10/2 広沢寺 (2)
10/3 ヌク沢左俣 (1＋2)
10/3 鳥甲山 (3)
10/3 北アルプス・風吹大池 (1＋8)
10/9 栗駒 (2)
10/10 鳳凰三山 (2)
10/10 ハセツネ 日本山岳耐久レース (1)
10/10 キナバル山 (1)
10/11 小川山 (2＋1)
10/11 三つ峠 (8)
10/11 米子沢 (3)
10/16 赤岳 (1)
10/16 鷹取山 (1)
10/16 三つ峠 (2)
10/16 錫杖岳／一ルンゼ、左方カンテ (3)
10/17 鬼怒沼山 (1＋1)
10/23 甲斐駒ヶ岳/黒戸尾根 (1)
10/23 佐久／湯川の岩場(13)
10/24 神ノ川水系 伊勢沢 (2)
10/24 高尾山域 景信山～城山 観天望気実技講習 (1＋10)
10/27 大山 (1)
10/31 鳥甲山 (1＋3)

やま＋＋　報告: 栗田　彰　計15名 (男11:女4) 平均51歳

10/2-3 甲斐駒(4)
10/17 戸隠山(3+1)
10/13 例会(11)
10/23-24 丹沢主稜縦走(4)
10/27 例会(11)
11/10 例会
11/13-14 セルフレスキュー＆みずがき山
11/24 例会

山ブキの会　報告:青柳　計7名 (男　:女7)　平均64歳

8/9-11 燕岳
8/20 高尾山
8/21-23 鳥海山 月山
8/26 大蔵高丸
9/4 高尾山
9/12 陣馬山
9/14 岩トレ・鳩ノ巣
9/23 景信山
9/26 大菩薩峠
10/3 花立
10/9-10 (宮城)田部井さんの講演会 栗駒山
10/13 二つや山 (福島)
10/15 塔の岳
10/25-27 大山(鳥取)・5合目まで (雪)
11/3 景信山 (北尾根)
11/14 丹沢大山
11/21 大菩薩峠・らくらくﾊｲｸ (新婦人)
12/10-11 丹沢山 (忘年山行)

県連のスケジュール

１１月			１２月			2011年１月		
1	月	常任理事会	1	水	登山リーダ養成学校机上	1	土	
2	火		2	木		2	日	
3	水	救助隊セルフレスキュー講習会	3	金		3	月	
4	木	登山リーダ養成学校机上	4	土	登山リーダ養成学校実技	4	火	
5	金		5	日	登山リーダ養成学校実技	5	水	登山リーダ養成学校机上
6	土		6	月	常任理事会	6	木	常任理事会
7	日	ＨＣリーダ学校実技講習	7	火	救助隊運営会	7	金	
8	月	連盟news印刷	8	水		8	土	
9	火	事務局長会議/連盟news発行	9	木		9	日	
10	水		10	金		10	月	連盟news印刷
11	木		11	土		11	火	事務局長会議/連盟news発行
12	金		12	日		12	水	
13	土		13	月	連盟news印刷	13	木	
14	日		14	火	事務局長会議/連盟news発行	14	金	
15	月		15	水		15	土	救助隊積雪搬出訓練
16	火		16	木		16	日	救助隊積雪搬出訓練
17	水		17	金		17	月	
18	木	事務局部会	18	土		18	火	
19	金	ＨＣリーダ学校修了式	19	日		19	水	
20	土		20	月		20	木	事務局部会
21	日		21	火		21	金	
22	月		22	水	事務局部会	22	土	登山リーダ養成学校実技
23	火		23	木		23	日	登山リーダ養成学校実技
24	水		24	金		24	月	自然保護委員会 クリーンハイク実行委員会
25	木		25	土		25	火	
26	金		26	日		26	水	
27	土	全国登山者自然保護集会	27	月	自然保護委員会	27	木	
28	日	全国登山者自然保護集会	28	火		28	金	
29	月	自然保護委員会	29	水		29	土	
30	火		30	木		30	日	
			31	金		31	月	常任理事会

２０１０年・２０１１年度の全国的な規模の集会・会議予定

第12回全国海外登山集会	11月27日（土）	連盟事務所1階会議室
第15回全国登山者自然保護集会	11月27日（土）～28日（日）	東京都勤労者山岳連盟
関東ブロック雪崩講習	2011年01月22日（土）～01月23日（日）	

登山時報　１１月号　目次